

# 知っていますか？郷土の民話

## 和尚塚

厶今月は三村にあった塚に関する伝説をご紹介します。

厶昔々、三村に地蔵院と呼ばれるお寺があり、村人たちの信仰の場となっていました。その中には地蔵堂と虚空蔵堂こくうざうがあり、立派な和尚がいらつしゃって、村人たちの尊敬を集めていました。ここの地蔵堂の本尊は、天台宗の開祖として著名な伝教大師最澄さいじやうと伝えられる地蔵菩薩像でした。

厶ある夜のこと、地蔵院で事件が起こりました。地蔵菩薩像が何者かによって盗み出されてしまったのです。夜が明けて和尚が地蔵堂に来たときは、似ても似つかぬ石のお地蔵様にすりかえられていたのです。和尚は大事な地蔵菩薩像が盗まれたことに驚き嘆き悲しみ、地蔵堂に籠もりお詫びのお経を上げ続けたのです。そして21日後、地蔵堂から出てきた和尚は、村人たちにこういいました。「伝教大師様が作った大事な地蔵菩薩を盗まれてしまい、お詫びの申しようもありません。私の命を捧げて、お詫びに言うのと、村人たちは和尚を慰めましたが、決心が変わることはありませんでした。」

ながら、村人によって盛られた塚の中に入っていました。和尚が塚の中に入ると、村人は空気が通るだけの穴を残して、塚の四方に土を盛りかため、盛り上げました。和尚は塚の中で食事を絶ち毎日毎晩お経を読み、鈴を打ち振り続けました。そして、幾十日が経ち、読経の声も鈴の音も途絶え、ついに罪業消滅の祈りを捧げていた和尚が、仏の下に旅立ったのでした。村人は、和尚のために供養を営み、その後この塚を和尚塚と名づけ、前を通るときは、手を合わせてから通り過ぎていたとのこと。

厶現在、三村には地蔵院という名前のお寺は無く、三村公民館の南隣に地蔵堂のみが残っています。明治4年の絵図面を見ると、公民館の道を挟んだ西隣に地蔵院が位置していたことがわかります。南北22m・東西206mに及ぶ境内の西に和尚塚があったとのこと。道路拡幅工事のために現在の塚はありませんが、直径15mの円形で、高さは7mから8m、頂上部の直径は4mと平らであったということが伝えられています。



多くの建物が並んでいた地蔵院も現在は地蔵堂を残すのみです

## 広報川柳

厶梅雨空に太鼓の音も湿気ている

厶石田 前原 秀雄

厶毎日歩いて老いを押し返す

厶上蒲生 鶴見 敏子

厶

厶

厶

厶

厶一定の距離置き平和嫁姑

厶大町 小口 達子

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶

厶